

## 高次脳機能障害講演会

# 「当事者のライフステージにあった 生活・就労・住まい」

高次脳機能障害の当事者が自立して生活するためには、どのような支援が必要でしょうか。

この講演会では、高次脳機能障害の人たちの生活や就労をテーマに、当事者や家族を支援する地域の仕組みづくりについて考えます。

2015年

とき

9月5日(土) 午後1時～4時

ところ

東京・浜離宮朝日ホール

東京都中央区築地5-3-2



- 都営大江戸線「築地市場駅」A2番出口すぐ
  - 「築地駅」東京メトロ日比谷線(1、2番出口)より徒歩8分
  - 「東銀座駅」東京メトロ日比谷線／都営浅草線(6番出口)より徒歩8分
  - 「汐留駅」都営大江戸線(新橋駅方面改札口)／新交通ゆりかもめ(改札口)より徒歩10分
  - 「新橋駅」JR(汐留口)／東京メトロ銀座線(1、2番出口)／都営浅草線(改札口)より徒歩15分
- ※ホールには駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

定員

400人(先着順)

参加費

一人1,000円(当日会場で)

- 主催 社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団
- 後援 NPO法人 日本脳外傷友の会  
NPO法人 東京高次脳機能障害協議会  
公益財団法人 大同生命厚生事業団

# 当事者のライフステージにあった生活・就労・住まい

P R O G R A M

P R O F I L E

|                     |  |
|---------------------|--|
| 13:00<br> <br>13:45 | <p>●基調講演<br/>『当事者のライフステージに合った支援』<br/>・渡邊 修さん</p>   |
| 13:45<br> <br>14:15 | <p>●対談『生活と就労を考える』<br/>・堀間 真さん<br/>&amp; 橋本 圭司さん</p>  |
| 休憩                  |  |
| 14:30<br> <br>16:00 | <p>●シンポジウム<br/>『当事者(少年期)の地域での包括的支援』<br/>コーディネーター／橋本 圭司さん<br/>シンポジスト／林田 麻理子さん<br/>・穴澤 啓太さん<br/>・穴澤 芳子さん<br/>・大塚 祐子さん<br/>・宮尻 京子さん</p> |

わたなべ しゅう  
渡邊 修さん

- 東京慈恵会医科大学附属第三病院・リハビリテーション科診療部長  
浜松医科大学医学部卒業後、同大学脳神経外科にて臨床、研究に従事。1993年より東京慈恵会医科大学附属病院リハビリテーション科に勤務、以後、神奈川リハビリテーション病院などで高次脳機能障害者の治療に従事。95年スウェーデン、カロリンスカ病院臨床神経生理学部門勤務。2004年、首都大学東京教授。13年、東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座教授。東京都高次脳機能障害支援検討委員会座長、日本リハビリテーション医学会専門医、日本脳神経外科学会認定医。

## 申込方法

参加希望のすべての方の①お名前(ふりがな)②〒・住所③TEL・FAX④職業を明記の上、下記までFAXかはがき、メールのいずれかでお申し込みください。ホームページからも申し込みができます。

申し込み受け付け後、聴講券をお送りします。参加費(1,000円)は、当日会場でお支払いください。

## ■申込先／お問い合わせは

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2  
朝日新聞厚生文化事業団「高次脳」係  
Tel.03-5540-7446 Fax.03-5565-1643  
E-mail: kojinou-t@asahi-welfare.or.jp  
<http://www.asahi-welfare.or.jp/>

はしもと けいじ  
橋本 圭司さん

- 国立研究開発法人国立成育医療研究センター・医療安全管理室長／リハビリテーション科医長

リハビリテーション専門医。医学博士。神奈川県総合リハビリテーションセンターなどで、数多くの高次脳機能障害の人の治療を経験。

ほりま しん  
堀間 真さん

- 高次脳機能障害当事者  
(国立成育医療研究センター・リハビリテーション科スタッフ)

26歳の時の交通事故により高次脳機能障害と身体障害に。2015年2月から国立成育医療研究センターのリハビリテーション科で受付業務を担っている。

はやしだ まりこ  
林田 麻理子さん

- 東京都立城北特別支援学校・主幹教諭／特別支援教育コーディネーター／臨床発達心理士

都立の肢体不自由特別支援学校に勤務。特別支援教育コーディネーターとして校内や地域の小・中・高校の教育相談や支援にかかわっている。

あなざわ けいた  
穴澤 啓太さん

- 高次脳機能障害当事者 (NPO法人翔和学園大学部学生)

12歳の時に転落事故により、高次脳機能障害を発症。5年間は作話、妄想、幻視、徘徊、感情の起伏が激しく障害の症状が現れた。現在は症状も緩和し、自身の障害を自覚しているところも見られる。

あなざわ よしこ  
穴澤 芳子さん

- 高次脳機能障害当事者の母親

2013年から、中学生～大学生の高次脳機能障害当事者と家族の会「ハイリハジュニア」の代表を務める。

おおつか ゆうこ  
大塚 祐子さん

- 東京都心身障害者福祉センター・高次脳機能障害者支援担当／作業療法士／支援コーディネーター

1997年東京都心身障害者福祉センターの肢体不自由者更正施設に勤務。肢体不自由者及び高次脳機能障害者の作業療法訓練を担当。2006年同センターの地域支援課に勤務。高次脳機能障害者を支援している。

みやじり きょうこ  
宮尻 京子さん

- 足立区障がい福祉センターあしすと・自立生活支援室 看護師

障害者の健康管理・相談業務に従事し、2003年から現職。06年度から東京都高次脳機能障害者支援モデル事業、高次脳機能障害者支援促進事業を担当。関係機関のネットワーク促進や当事者・家族会支援にかかわっている。